



みょうけん こういちろう  
**明見 孝一郎**

明日を見据えて全力投球！

2019年4月発行  
明見 孝一郎  
後援会 会報

発行責任者 妹尾 貴之  
編集責任者 馬場 彰彦  
《内部資料》

2019年3月29日一般公開



■入城料  
一般・大学生：500円  
小中高生：250円  
■営業時間  
9：00～17：00  
(最終入場時間は、16：30)

## ◆平成31年 第10回尼崎市議会定例議会ご報告◆

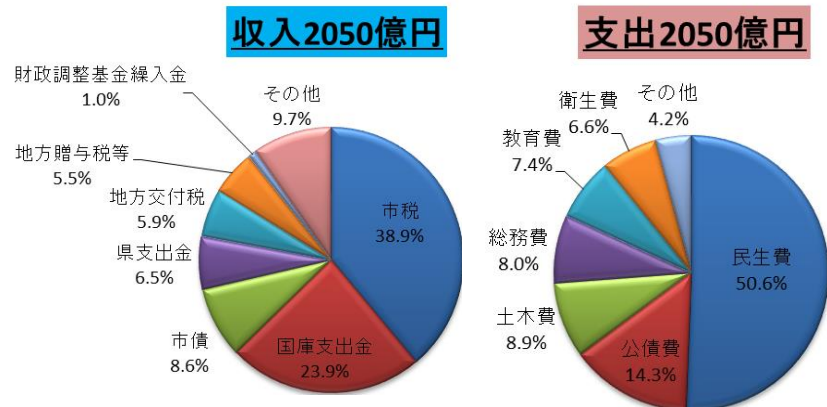
第10回市議会定例会が平成31年2月21日から平成31年3月22日までの30日間の会期で開催されました。市長から**条例案28件、予算案25件、その他の議案12件、人事案3件**が提出され、常任委員会並びに予算特別委員会にて審査を行い採決の結果、**全ての議案が可決**されました。予算特別委員会では、平成31年度当初予算において、昨年度に引き続きファミリー世帯の定住・転入促進に重点をおいた予算編成がなされており、**主に主要事業の教育、子育て、観光地域づくり、地域を支える体制づくりの施策等について会派を代表して代表質疑を行いました。**その後、分科会審査、総括質疑を行い特に重要と思われる点について意見を付し可決しました。

## ◆平成31年度当初予算（一般会計）の概要◆

○ 一般会計は、2,050億円の前年度に比べ▲0.8%、16億円の減となっています。

- 特別会計は、1,009億円の前年度に比べ1.5%増
- 企業会計は、747億3,100万円の前年度に比べ2.1%減

### 一般会計の内訳



\*一般会計については、20億5千万円の収支不足が発生し、その対策は財政調整基金を取り崩して対応しています。

民生費：高齢者・障害者・児童福祉や生活保護等  
公債費：市が借りましたお金の返済費  
土木費：道路や公園の整備・維持管理等  
総務費：行政全般の管理事務や徴税、戸籍事務等  
教育費：学校や幼稚園、図書館の管理運営等  
衛生費：保健所の運営、ゴミ収集処理等  
その他：産業振興や消防等

## ◆2019年度 主要事業◆

### 1. 子育て施策～安心して子どもを産み育てられるまちへ～

- (1) 待機児童ゼロに向けた取組進行中
- (2) 保育士確保策の強化
- (3) ファミリーサポートセンターを本庁に窓口を設置
- (4) 子どもの医療費も助成を拡充
- (5) あまがさき・ひと咲きプラザ 2019年10月 グラウンドオープン予定

### 2. 教育施策～子どもたちの確かな学力向上を目指して～

- (1) 「多層指導モデルMIM」、「民間教育事業者による勉強会」などを実施し、全国学力平均の壁突破へ
- (2) 阪神間初！公立高校で民間企業とコラボした課題解決型学習に挑戦

- (3) 全小学校と特別支援学校に  
スクール・サポート・スタッフを配置

### 3. 観光地域づくり～まちの魅力を、まちの活力に～

- (1) 尼崎城を中心に据えた観光地域づくりの推進
- (2) 歴史館機能（博物館） 2020年秋ごろオープン予定

### 4. 地域力を支える体制づくり～ともにまちづくりを進めます～

- (1) 原則として小学校（41校）に1人の地域担当職員を配置
- (2) 学びと活動を支える生涯学習プラザを拠点とし、防災や子育て支援など地域主体の課題解決等の取組を支援
- (3) 学校と地域が連携して、子ども達の成長を支えます

一般社団法人あまがさき観光局HP

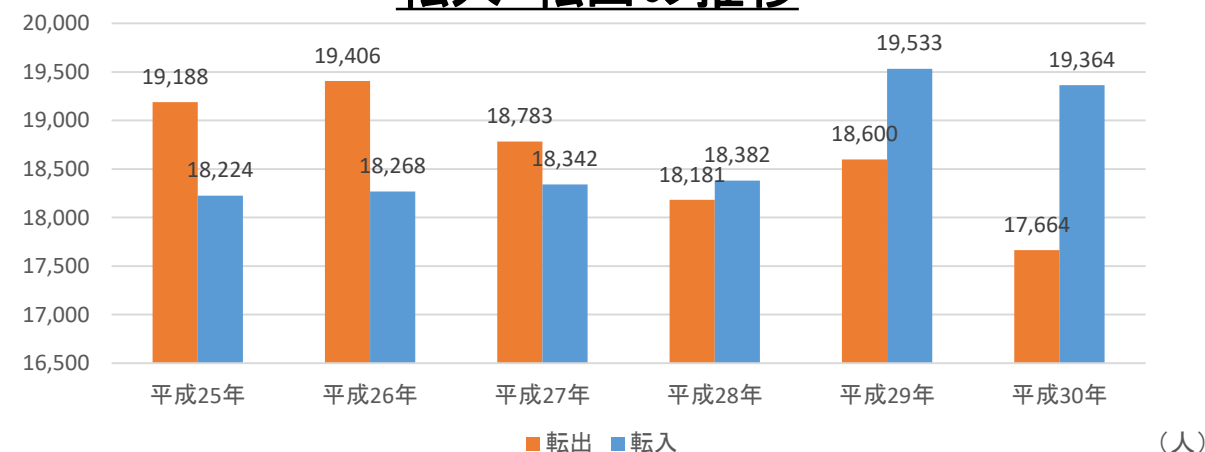


## ◆尼崎市の人口推移◆

私たちの街・尼崎が住宅ローン専門大手のARUHI主催の「本当に住みやすい街大賞2018in関西」において1位に選ばれました。交通の利便性や買い物のしやすさなど、さらに発展していくまちとして、注目されています。さらに統計人口が9年ぶりに増加し、3年連続転入超過となり50年ぶりの快挙となりました。今後も尼崎市が「住みたいまち」、「住みやすいまち」として選ばれるように取組んでまいります。

	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	合計
平成25年	4,145	4,635	△ 490	18,224	19,188	△ 964	△ 1,454
平成26年	3,927	4,678	△ 751	18,268	19,406	△ 1,138	△ 1,889
平成27年	3,995	4,850	△ 855	18,342	18,783	△ 441	△ 1,296
平成28年	3,826	4,807	△ 981	18,382	18,181	201	△ 780
平成29年	3,796	5,145	△ 1,349	19,533	18,600	933	△ 416
平成30年	3,792	5,050	△ 1,258	19,364	17,664	1,700	442

## 転入・転出の推移



## ◆平成31年3月 第10回定例会 代表質疑◆



代表質疑全容

### 【質問】行財政構造改善の取組と最重要課題への政策経費捻出とのバランスについて

3年連続で収支均衡が確保でき、市債残高を含めて、着実に改善が図られています。しかし、財政運営上の大きな負担には変わりありません。行財政構造改善の取組と最重要課題への政策経費捻出とのバランスはどのように考えているのか。また、市民が期待をもてるであろう主要事業の予算が抑制されているように伺えますが、予算分配の考え方をお聞かせ下さい。

### 【答弁】市長

財政状況は社会保障関係費の増加や、類似都市と比較して著しく多額の市債残高に起因して、今後も高い水準で推移する公債費などにより、収支不足が拡大する厳しい状況が見込まれています。

平成31年度予算編成方針においては、施策評価結果を踏まえ、「ファミリー世帯の定住・転入促進」並びに「シチズンシップの向上とシビックプライドの醸成」に向けた取組を重視し、経常的経費に係る一般財源で約1億8,000万円の主要事業を構築する一方で、更なる構造改善の推進や将来負担の抑制など、プロジェクトの中間総括で定めた財政規律と財政目標を踏まえた行財政改革の取組により、約3億円の財源を生み出すなど、必要な財源の確保に努めてきたところです。

こうした考え方のもと、主要事業における予算分配については、「教育施策」「子育て施策」「住宅施策」、そして、「観光地域づくり」「地域力を支える体制づくり」を特に重点的に取り組む項目に位置付け、それぞれの事業に期待する効果や、必要となる財源、将来にわたって財政運営に与える影響などを十分に踏まえて、予算の配分を行ったものです。



### 【質問】あまがさき観光局の経営計画について

尼崎城の一般公開が始まる中、外郭団体として、自主的に事業展開していく上で、事業計画の確認と指導等、連携が不可欠ではあります。あまがさき観光局の経営計画の展開を含め、将来展望をお聞かせください

### 【答弁】ひと咲きまち咲き担当局

議員ご指摘のとおり、あまがさき観光局を観光地域づくりの核として、自主的かつ柔軟に事業を展開していく必要があると認識しております。観光地域づくり戦略に沿って毎年度事業計画を定めていくこととしていますが、年度当初では、取組の大枠を定め、年間を通じて変化していくニーズに対応すべく機動性と柔軟な発想を持って、トライアル・アンド・エラーを繰り返しながらよりチャレンジングに事業を展開していきたいと考えております。

その上で、毎年の観光局の取組状況については、観光指標の達成状況などの分析や決算状況を含め、議員や地域の皆様にしっかりと報告し、財政的なチェックはもとより、さらなるアイデアやご意見をいただきながら取組んでまいります。

### 【質問】乳幼児等・こども医療費助成制度の拡充への判断について

政策部門と財政部門の局が分かれることで、次の乳幼児等・こども医療費助成制度の拡充への政策判断が遅れるのではないかと。

### 【答弁】企画財政局

議員ご指摘の「子どもに係る医療費助成制度」の今後のさらなる拡充については、財政状況を見通す中で、他の施策も含めた全庁的な財源調整を行っていく必要があります。引続きの検討課題と考えています。

### 【質問】新たな事業の全校展開について

先駆的な取組以外で他都市の事例や文部科学省が評価している事業等については、早期に全校展開を押し進めたほうが良いと考えるが、その点について財源的なことも含めてご見解をお聞かせ下さい。

### 【答弁】教育委員会

アクティブ・ラーニング推進事業につきましては、これまで25校で実施してきた事業であり、「そだち指導補助」については、当該事業を転換せるものであります。

義務教育の趣旨目的を踏まえると、特に、子供の教育環境に直接影響を与える事業については、先駆的な取組を実験的に実施するモデル事業以外は、基本的に、全校で実施することが望ましいものと考えております。このため、直接子供への指導にあたる「学習支援員」については、全校配置としています。

一方で、限られた財源の中で、実際の職員の雇用等の現状等も踏まえると段階的な見通しが必要であることから、「そだち指導補助」については、特に支援が必要な学校を中心に25校に配置するとともに、先進校視察についても、これまでの実績を30校としているところです。

なお、アクティブ・ラーニングについては、「授業改善推進支援事業」として、校内研究や外部講師からの支援を受けることにより、引き続き推進することとしております。

### 【質問】PDCAサイクルを意識した行財政改革について

今後も様々な要因で収支不足拡大が予測される中、施策評価手法に合わせ行財政改革についてもPDCAサイクルを意識した取組が、効率的・効果的ではないかと考えるが、ご見解をお聞かせください。

### 【答弁】企画財政局

これまで危機的な財政状況の中、「尼崎市経営再建プログラム」及び「あまがさき」行財政構造改革推進プランにおける行財政改革の取組では、相当数の事業の見直しを行ってきており、今後に見込まれる収支不足額の拡大に対して、単に事業を見直すなどの手法では、その余地が狭まっているのが現状です。

こうしたことから、「あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト」における行財政改革の取組では、歳入確保や事業の見直しといった、これまでの手法に加え、議員ご指摘のとおり、施策評価などを活用する中で、既存事業を振り返り、より効率的で効果的な事業へ再構築するとともに、それに必要な事業費の削減を図るなど、これまで以上に創意工夫を凝らした取組を進めているところです。

### 【質問】次期下水道中期ビジョンの広報・広聴活動方針について

近年、局地的集中豪雨により大きな被害を受ける災害が多発し、本市においても内水による浸水被害を経験しています。次期下水道中期ビジョンの策定にあたり、今回の事態を教訓に広報・広聴活動の充実に向けた方針を取り入れるべきと考えますがご見解をお聞かせ下さい。同様に、次期水道・工業用水道ビジョン策定もお聞かせ下さい。

### 【回答】公営企業局

今回の雨水貯留管整備工事に向けた説明会等を通じ、事業の必要性について、市民の皆様への周知に努めて参りましたが、結果的に理解を深めるに至らず、改めて市民への説明の重要性を認識致しました。

上下水道事業は、市民生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、その果たす役割、必要性を市民の皆様にもご理解頂けるよう、新年度におきましては、水道・下水道事業の広報について、ホームページや全戸配布しているウォーターニュースのさらなる内容の充実を図ってまいります。さらに浄水場の施設見学などのイベントを実施するとともに、今後策定致します、各ビジョンにおいても、広報・広聴の充実を重点的な取組の一つとして位置づけ、水道・下水道事業をより身近な存在として、感じていただけるよう取組んでまいりたいと考えております。

市政に関するご相談等がございましたらお気軽にご連絡下さい

明見孝一郎後援会連絡所 〒660-0095 兵庫県尼崎市大浜町2-26 TEL:06-6415-2131 FAX:06-6415-2133